

製品名: 筋肉アクチンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86279**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:42 kDa

抗原情報

遺伝子名	muscle Actin
別名	ACTA; ASMA; CFTD; MPFD; NEM1; NEM2; NEM3; SHPM; CFTD1; CFTDM
遺伝子 ID	58
SwissProt ID	P68133
免疫原	ヒト筋肉アクチンの合成ペプチド

背景

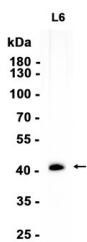
この遺伝子によってコードされる産物は、細胞の運動性、構造、および完全性に関与する高度に保存されたタンパク質であるアクチン

ンファミリーに属します。α、β、γアクチンのアイソフォームが同定されており、αアクチンは収縮装置の主要構成要素であり、βおよびγアクチンは細胞運動の調節に関与しています。このアクチンは骨格筋に見られるαアクチンです。この遺伝子の変異は、ネマリンミオパチー、先天性ミオフィラメント過剰ミオパチー、先天性コアミオパチー、線維型不均衡ミオパチーなど、様々なミオパチーを引き起こします。これらの疾患は、筋緊張低下などの症状を伴う筋線維の欠陥につながります。[RefSeq 提供、2019年9月]

研究分野

-

画像データ



筋肉アクチンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して L6 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。